

まもなく春本番!

春の花の開花状況をお知らせします。

現在、スイセンの丘が一面黄色に染まっています。



2012年3月29日撮影

ひたち海浜公園の「スイセンの丘」では、ただいま早咲きスイセン「ラインベルト・アーリーセンセーション」と早咲きナノハナが見頃となっています。

今年は寒さの影響もあって、スイセン、ナノハナともに予想より開花時期が遅れましたが、同じ時期に見頃を迎えることとなりました。丘の南西斜面にスイセン、北東斜面にナノハナが広がり、小高い丘全体を黄色に染めています。周囲には紅白の梅も咲いており、辺りにはようやく春の景色が広がり始めました。

「スイセンの丘」の近くの、「スイセンガーデン」でも早咲きスイセンが咲き始めています。ここでは松林の下に100万本のスイセンが作り出す幻想的な雰囲気がお楽しみいただけますが、やはり全体的に開花時期が遅れております。見頃は4月中旬頃になる見込みです。開花状況につきましては、次回以降のリリースで引き続きご案内致します。

春本番を目前にして、園内の花に関するお問い合わせも日を追うごとに増えてきています。今回はスイセン、ナノハナを始め、春の花の開花状況をご案内致します。

お問い合わせ先

国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報宣伝チーム 青木・服部・和光

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

TEL: 029-265-9001 (報道関係者の方は 029-265-9004・9005 迄) FAX: 029-265-9339

ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp> “ひたち海浜公園”で検索。

早咲きスイセン 「ラインベルト・アーリーセンセーション」

「スイセンの丘」の南西側斜面(約 580 m²)で、23,000 本が見頃を迎えています。

見頃



2012年3月29日撮影

純黄色の大型ラップスイセンで、他の品種がまだ芽を出さないうちに開花する極早生種です。ナノハナとともに小高い丘一面に咲いているので、写真を撮るのに適した地形となっていて、人気のフォトスポットとなっています。例年、早咲きナノハナより約 1 か月遅く開花しますが、今年は同じ時期に見頃を迎え丘全体が黄色に輝いています。今年 は 4 月第一週の半ば頃まで良い状態で見られます。

寒咲きナノハナ

「伏見寒咲・吉野の春・最上の春・信濃の春」

「スイセンの丘」の北東側斜面(約 1,800 m²)で、4 品種計 82,000 本が見頃を迎えています。

見頃



2012年3月29日撮影

4 種類の早咲き品種を植えています。小高い丘が黄色に包まれた景色は心を和ませます。丘の頂上には小道があり、2 本の梅の木が植えられています。現在は梅の花も開花しており、同時に楽しむことができます。開花時期も長く数か月咲き続くこともあります。

今年 は 4 月中旬までお楽しみいただけます。

スイセンとナノハナは、スイセンの丘に続いて、下記の場所でも開花し始めています。



早咲きスイセン『テタテート』 2012年3月29日撮影

◇スイセンガーデン

都市公園で最大級の広さを誇る「スイセンガーデン」では 100 万本のスイセンが咲き誇ります。現在早咲きのスイセンが咲き始めていますが、全体の見頃は 4 月中旬を予想しています。



『フェブラリーゴールド』
2012年3月29日撮影



『ペーパーホワイト』
2012年3月29日撮影



◇テラスハウス前

2012年3月29日撮影



2012年3月29日撮影

◇大草原フラワーガーデン (約50万本)

早咲きナノハナに続いて、大草原南のサイクリングコース脇を黄色に染めます。サイクリングをしながらご覧いただくのがおすすめです。現在開花待ちで見頃は4月中旬以降を想定しています。

その他の花の開花状況

先にご紹介いたしました、早咲きのスイセンやナノハナと同様に、他の花の開花も例年と比べて遅くなっていますが、気温が上がるのとともに開花を急ぎ始めています。
現在の園内の春の花の開花状況をスイセンと並ぶ、当公園の春の主演「チューリップ」と「ネモフィラ」の現状報告と合わせてご案内します。

春の公園に香りと彩りを添える



2012年3月29日撮影

◇ウメ (25品種 約150本)

バラ科サクラ属の落葉小高木。早春告げる花として、古来より日本人に愛されてきました。「西口エリア周辺」に25品種約150本のウメが植栽されています。品種によって咲き具合が異なり、現在中咲きが咲き始め、全体で「7分咲き」程度となっています。白、ピンク、赤などさまざまな色合いをご覧ください。

ややうつむき加減の花姿がいとおいしい



記念の森散策路にて 2012年3月29日撮影

◇クリスマスローズ (10品種 約2700本)

キンポウゲ科の多年草花で下にうつむきながらさく姿は「冬の貴婦人」とも呼ばれています。

「記念の森散策路」や「香りの谷」で開花しています。当園では平成17年、公園ボランティア「記念の森パートナーズ（旧名：ひたちガーデナーズ倶楽部）」の皆さんが植え付けを行い、現在も管理を続けています。

現在の「たまごの森フラワーガーデン」



2012年3月29日撮影

◇チューリップ (170品種 27万本)

松林の下に広がるたまごの森フラワーガーデンに約170品種27万本のチューリップがカラフルに広がります。一部、同じ箇所でも早咲きから遅咲きへと咲き変わる植え方をし、時間と共にデザインが変わる姿をご覧ください。また様々なモチーフを花で描いたり、花を集めて島を作ったりと見せ方や表現方法に工夫を凝らしました。咲き始めは4月中旬、見頃は4月末～5月上旬を予想しています。

現在の「みはらしの丘」



2012年3月29日撮影

◇ネモフィラ (1品種 450万本)

みはらしの丘3.5haに450万本のネモフィラの花が青空に向かって広がります。一歩足を踏み入れるとそこは360度見渡す限り青一色の世界、まるで空中散歩をしているような錯覚に陥ります。ライトブルーの可憐な花と空と海とが織りなす日本最大のパノラマシーンは圧巻です。咲き始めは4月下旬、見頃は5月中旬頃を予想しています。

